

取扱説明書



TEK-Mate®

ハンディー型 フロンガス リークディテクター

 **INFICON**

安全宣言

インフィコン株式会社 (INFICON Inc.), 2 Technology Place, East Syracuse, NY 13057 USA、は、私どもが製造したこの装置が EU (欧州連合) の基本安全基準に合致しており、またそうした基準に従って販売されていることをここに証明します。この製品は社会的に求められている安全事項に関し、優れた作業規則に従い製造されたものです。

装置の説明 テックメート (TEK-Mate®) 冷却剤リーク感知機

準拠規則 73/23/EEC (93/68/EEC により改訂)
89/336/EEC (93/68/EEC により改訂)

準拠基準 EN 61010-1: 1993 EN55011, グループ 1,
クラス A: 1991 EN50082-1: 1992

CE 適用日 1997 年 3 月 1 日

認定代表者 ゲーリー W. ルイス
品質管理担当副社長
インフィコン株式会社

この表明内容あるいはインフィコン製品の安全性に関するお問い合わせは、上記住所の品質管理部 (Quality Assurance Department) に書面でお送りください。



このマークは、取り扱いとメンテナンス (整備) に関する説明書類が装置に付いていることを忠告するためのものです。

目次

安全宣言	1
内容	2
テックメート (TEK-Mate) の特長と仕様	3
製品仕様	3
使用開始	4
アルカリ電池の取り付け方	4
センサーの取り付けと取り替え	5
インフィコン製テックメート (TEK-Mate) の使い方	6
リークの見つけ方	6
フィルターの交換	7
テックメート (TEK-Mate) の収納	7
アルカリ電池の廃棄方法	8
トラブルシューティング	8
返品承認と手続き	9
取り替え部品と付属品	10
保証と責任	10
自動車技師のための特別インフォメーション	11

TEK-Mate®、Toolbox Tough™、INFICON® はインフィコン・インクの登録商標です。
DURACELL® はデュラセル・インクの登録商標です。

スタート

1. 電池とセンサーを以下のように取り付けます。
2. OFF-LOW-HIGH 感度スイッチを HIGH の位置に動かします。
3. テックメートの温度が上がるまで待ちます。テックメートが温まる間は高いピッチの音が聞こえ、リーク・インジケーターが点灯します。ピーという音に変わると「リーク」インジケーターが点滅し始め、テックメートはリーク探知を始められます。
4. リークのチェックを始めてください。

インフィコン製テックメート冷却剤リーク感知機は CFC、HCFC、HFC、混合した冷却剤 (R-404A、R407c) の全てとさらに SF6 に対し同様の反応を示します。使用している冷却剤を選ぶ手間がかかりません。

アルカリ電池の取り付け

1. 掛け金を外し、蓋を下にスライドさせてハンドルから外し、電池のカバーを取り外します。
2. 図 1 にあるように単一型アルカリ乾電池 2 個を取り付けます。
3. 電池のカバーをハンドルに揃えて付け直し、掛け金が締まるまで上にスライドさせます。

電池の寿命が尽きるころになると、黄色いローバッテリー・インジケーターがつかめます。このローバッテリー・インジケーターがついてから 1 時間程度テックメートはこの電池で動きますが、できるだけ早く電池を取り替えてください。

図1. 正しく取り付けられたアルカリ電池



センサーの取り付けと取り替え

テックメートの発送に際しセンサーは別のパックに入っています。使用する前にテックメートにセンサーを取り付けねばなりません。この特別センサーは約 100 時間使用できますが、その後は取り替えてください。

1. 外側の端を持ち上げてゴムのセンサー・カバーを外します。
2. 使い終わったセンサーを取り替える場合、使い終わったセンサーをソケットからまっすぐに引っ張って取り出し、廃棄します。



警告！

センサーを取り替える場合、使い終わったセンサーが熱くなっている場合があります。

3. 新しいセンサーをパッケージから取り出します。
4. 慎重に3本のセンサー・リード（「缶」の底から出ている小型ワイヤー）をセンサー・ソケットにある3つの穴に揃えます。センサーのリードがソケットの底に当たるまで真直ぐそっと押し、リードを穴に差し入れます。センサーのリードを曲げないよう気を付けてください。図2参照。

注記： 探針の先端がリーク部分より先まで動くことが大切です。リーク部分で止めると、自動ゼロ機能でリーク信号は次第にゼロになってしまいます。

3. 装置がリーク源を感知すると、異なる信号音を発します。
4. テックメートがリークを知らせたら、探針を少しの間リーク部分から離してまた戻し、場所を特定します。冷却剤のリークが多量であれば、感度スイッチを LOW に設定するとリークの正確な場所がより簡単に発見できます。
5. 他の場所のリークを探知する場合は、感度スイッチを HIGH に戻してください。

注記： 最初に装置をオンにする時同様、装置を HIGH に再設定すると、信号音が鳴り続けた後でピーという音に変わります。

6. リーク・テストが終わったら、装置を OFF にし、汚れがなく、装置に害が起きない所に保存してください。

フィルターの交換方法

探針の先端にある気泡フィルターが水や油でつまった場合は取り替えてください。フィルターを取り替えるには、古くなったフィルターを引き抜き（ペーパー・クリップまたは同様の道具で）、新しいフィルターを押して入れます。

テックメートの収容部を掃除するには

テックメートのプラスチック製収容部は普通の家庭用洗剤かイソプロピルアルコールで汚れを落としてください。洗剤が装置の中に入らないように注意してください。ガソリン、その他の溶剤はプラスチックを傷つける可能性がありますから、そうした薬品類にインフィコン製テックメートが触れないようにしてください。

アルカリ電池の廃棄

アルカリ電池の寿命が終わったら、適切な州法および地域の条例に従って廃棄してください。そのような法規がない場合、インフィコンでは、ボランティアが行っている廃棄物リサイクル・プログラムを通じて電池をリサイクルまたは廃棄することをお勧めしています。

トラブルシューティング

電池とセンサー以外、テックメート・リーク感知機の内部部品はお客様が自分で修理することはできません。もしテックメートに問題が起きた場合、以下のトラブルシューティング表を見て解決方法を選んでください。もし問題が解決できない場合、テックメートを卸売店に持って行き製品保証検査を受けてください。

問題	原因	対応
1. 感度が悪い。テックメートがリークを感知しない。	1a. センサーの寿命が終わった。	1a. センサーを取り替える。5 ページ参照。
	1b. 電源スイッチが HIGH でなく LOW になっている。	1b. 電源スイッチを HIGH にし、リーク部分を再度チェックする。
2. テックメートのリークへの反応が遅い。	2a. フィルターが汚れるか濡れている。	2a. フィルターを取り替える。7 ページ参照。
	2b. ポンプが動かない。	2b. テックメートの電気を入れモーターの高い回転音があるか聴く。モーターの音がしなければテックメート卸売店に返却し製品保証検査を求める。

	2c. センサーカバーを閉じれない。	2c. センサーカバーが正しく取り付けられているか確かめる。6 ページのステップ 5 を参照。
3. 電気が入らない。	3a. 電池がなくなっている。	3a. 新しい電池を入れる。4 ページ参照。
	3b. 電池の入れ方が間違っている。	5 ページの図 1 のように電池が入っているか確かめる。
4. 間違っ て警報が鳴る：探針を外したり何かにあてるとテックメートが警報を発する。	4a. センサーのリードが曲がっている。	4a. センサーを外しリードを調べる。必要ならラジオ・ペンチでリードをまっすぐにしてセンサーを再度取り付け。
	4b. 長く使わない間にセンサーが湿った。	4b. テックメートを少なくとも 20 分作動させる。湿ってもセンサーの感度や寿命には影響しません。

返却承認手続き

不良なテックメートあるいは不良な交換部品や付属部品は卸売店に返却し製品保証検査を受けてください。ご質問は 045-471-3328 インフィコン社までお願い致します。

注記： 卸売店に連絡せずに不良製品を直接製造元に返却しないでください。

交換部品と付属部品

インフィコン製テックメート冷却剤リーク感知機用の交換部品と付属部品は、装置をお買い求めになったディーラーで入手できます。

プラスチック製収納ケース 705-401-P2

交換用センサー 703-020-G1

先端フィルター（20 個入） 705-600-G1

保証と責任

私どもインフィコンでは、お買い求めいただいたテックメート冷却剤リーク感知機には材料や製造上の欠陥がないことを、ご購入の日から 1 年間保証します。インフィコンは、電池、センサー、フィルターを含む、通常の使用により消耗するものは保証しません。さらに、インフィコンは、誤った使い方、本人の過失、事故の対象となった装置あるいはインフィコンの者以外の方が修理した装置については一切保証しません。

インフィコンの責任は、輸送費前払いで保証期限終了後 30 日以内までにインフィコンに返却されたもので、材料または製造上の欠陥があつて故障したとインフィコンが判断する装置に限定します。インフィコンの責任は、欠陥のあつた装置または部品の修理または取り替えに限定し、どちらにするかはインフィコンの自由とします。

この製品保証は、商品の販売適性であれ、あるいは特定の目的に合致しているかどうかであれ、他のあらゆる保証（表明されたものもそうでないものも）に代わるものです。そうした他の保証は明白に否定されています。インフィコンには、装置に対しインフィコンに支払われた価格と前払いされた返却送料以上の責任はありません。インフィコンはいかなる付随的または間接的な損害に対しても責任を負いません。そうした全ての責任は対象から除外されます。



本社

インフィコン 株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-23-3 (東武 AKビル)

TEL: (045) 471 3328 FAX: (045) 471 3327

www.inficon.com

074-336-P4B